

工学部：物質科学工学科

【卒業要件：135単位】

1. 全学教育科目は、卒業要件として（イ）～（ホ）に従い、41単位以上を修得する。
 - （イ）教養教育科目は、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。
 - コア教養科目の「人間と文化」、「文芸と人間」、「歴史の認識」の中から1科目2単位以上、
 - コア教養科目の「異文化の理解」、「現代の政治と法」、「現代の社会と経済」の中から1科目2単位以上、
 - コア教養科目の「地球と生命」、「数理と情報」、「物質の世界」の中から1科目2単位以上を修得する。なお、コア教養科目の「医療と福祉」、「芸術とテクノロジー」については、1科目2単位に限り、コア教養科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
さらに、上記で修得した科目を除くコア教養科目および六本松地区で開講する個別教養科目の中から4単位以上を修得する。
 - （ロ）言語文化科目Ⅰでは、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。
 - （ハ）健康・スポーツ科学科目Ⅰでは、「健康・スポーツ科学講義」、「健康・スポーツ科学実習」を修得する。
 - （ニ）基礎科学科目Ⅰでは、必修科目17単位を修得する。
 - （ホ）情報処理科目Ⅰでは、「情報処理基礎演習」を修得する。
2. 専攻教育科目では、卒業要件として、入門科目を除いた低年次専攻教育科目を含めて84単位以上を修得する。
3. 工学部の卒業要件として、上記1および2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により10単位以上を修得する。
なお、上記10単位のうち4単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。
ただし、総合選択履修方式のうち8単位以上は工学部物質科学工学科（配属されるコース）の専攻教育科目以外から履修すること。
また、次の科目を履修することが望ましい。
 - 基礎科学科目Ⅰの「熱と波動論基礎」、「基礎無機化学」、「基礎有機化学」、「細胞生物学」から2科目4単位以上
 - 専攻教育科目（入門科目）の「物質科学工学概論第一」、「物質科学工学概論第二」、「創造工学演習」
4. 進級について

3年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに次の条件を満たしておかなければならない。
 - ① 全学教育科目37単位以上を修得する。
 - ② 総合選択履修のうち、基礎科学科目Ⅰを4単位以上、物質科学工学科の入門科目を2単位以上修得する。
 - ③ 2年次終了までに箱崎及び元岡地区において開講される専攻教育科目について別に定める単位数を修得する。

履修細目一覧（ 工学部：物質科学工学科 ）

区分	授業科目	最低修得単位数			受講 キャンパス	
		科目区分毎の 単位数	総合選択 履修方式	合計		
全 学 科 目	教 養 科 目 コ ア 教 養 科 目	人間と文化(2) 文芸と人間(2) 歴史の認識(2) 異文化の理解(2) 現代の政治と法(2) 現代の社会と経済(2) 地球と生命(2) 数理と情報(2) 物質の世界(2) 上記で修得しなかったコア教養科目	医療と福祉(2) 芸術とテクノロジー(2) ※1	2単位 2単位 2単位	10単位	六本松
		個別教養科目		4単位		
		箱崎, 病院, 大橋, 元岡キャンパスで開講する科目				
		箱崎, 病院, 大橋, 元岡キャンパスで開講する科目				
	教 育 科 目	言語文化科目Ⅰ	第1外国語 第2外国語	6単位 4単位	10単位 ※2	135単位
	健康・スポーツ科学科目Ⅰ	健康・スポーツ科学講義(2) 健康・スポーツ科学実習(1)	2単位 1単位			
	基礎科学科目Ⅰ	【必修科目】 線形代数A(1.5), 線形代数B(1.5), 微分積分A(1.5), 微分積分B(1.5), 微分積分統論(2), 力学基礎・同演習Ⅰ(1.5), 力学基礎・同演習Ⅱ(1.5), 電磁気学基礎(2), 物理学基礎実験(2), 基礎化学実験(2) 次の科目の中から, 2科目4単位以上を履修することが望ましい。 熱と波動論基礎(2), 基礎無機化学(2), 基礎有機化学(2), 細胞生物学(2)	17単位			
	情報処理科目Ⅰ	情報処理基礎演習(1)	1単位			
	言語文化科目Ⅱ					
	健康・スポーツ科学科目Ⅱ					
基礎科学科目Ⅱ						
情報処理科目Ⅱ						
外国語コミュニケーション科目						
他専攻の専攻教育科目						
専 攻 教 育 科 目	低年次 (第1学期)	入門科目 次の科目をすべて履修することが望ましい。 物質科学工学概論第一(1), 物質科学工学概論第二(1), 創造工学演習(2)			84単位	
	(第2学期)	基礎物理化学第一及び演習, 機械工学大意第一, 電気工学大意第一	6単位			
	(第3学期)	基礎物理化学第二及び演習, コース指定科目(2)	4単位			
	第4学期以降	工学部専攻教育科目履修の手引きを参照すること。	74単位			

※1 「医療と福祉」, 「芸術とテクノロジー」については, 1科目2単位に限り, コア教養科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 総合選択履修方式の10単位には, 科目区分毎の最低修得単位数分として履修した科目を除いて履修すること。
総合選択履修方式において, 3年次以降に4単位以上履修することが望ましい。
総合選択履修方式のうち8単位以上は自らのコースの専攻教育科目以外から履修すること。